

2023年5月吉日

関係各位

(一社) 日本エルピーガス供給機器工業会
調整器技術 WG

集合管の定期交換のお願い

謹啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、近年、集合管内部の腐食物が調整器に悪影響を及ぼす事例が散見されております。調整器を定期交換していただいている場合であっても古い集合管を使用している場合には、閉塞不良等のトラブルが発生してしまいますので、別紙をご参照のうえ、調整器の交換に合わせて集合管も交換していただきますよう、お願い申し上げます。

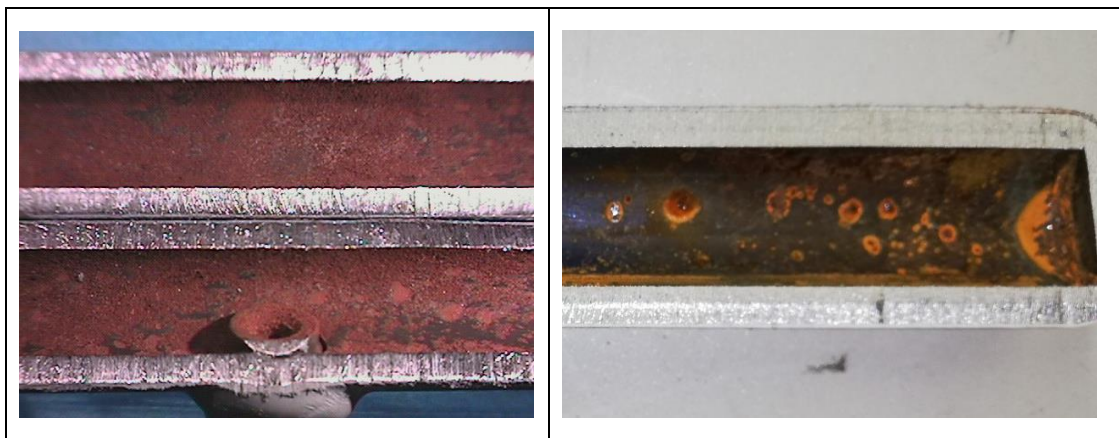
謹白

集合管内部の腐食による調整器のトラブルについて

1. トラブルの概要

集合管内部が腐食し、その腐食物が集合管から剥がれて調整器に侵入することにより、閉塞不良などのトラブルが発生しております。

腐食した集合管内部（切断した集合管）



2. 集合管の腐食要因

通常、集合管内部はLPガスが充填しているため、腐食の要因となる水分や酸素は存在しませんが、容器交換時等に集合管内部に侵入した高圧ホース内部の空気と何らかの要因で浸入した水分が腐食の要因になっていると推測されます。

また、腐食が集合管全周に及んでいるものもあることから、集合管の再使用（保管時）における腐食も発生していると考えられます。

3. 交換時期の目安

調整器の交換時（一般型7年、高性能型10年）に合わせて交換することを推奨いたします。

4. その他注意事項（設置工事・維持管理上の注意点）

集合管内部の腐食を防止するため、定期交換以外にも以下の点にご注意ください。

- ① 容器交換時に、高圧ホースと容器弁を締結するPOL部に雨水などの水分や異物が付かないように注意してください。水分や異物が付いた場合は、拭き取ってから締結してください。
- ② 工事の際には集合管内部に水分や異物が入らないように注意してください。

- ③ 集合管を調整器と同時交換せずに再使用する場合は、調整器交換時に集合管内部（目視可能な範囲）や調整器入口のストレーナに錆がないか確認し、錆があった場合は集合管を交換してください。

なお、一度使用した集合管を調整器から外して保管すると、保管中に集合管内部が腐食する可能性があるため、集合管を調整器から取り外して保管する際は、フランジ部、逆止弁付根元バルブの入口、高圧ホースの POL 部など空気や水分が出入りする可能性がある箇所に蓋フランジやキャップなどを取付けてください。また、調整器から外して一定期間経過した集合管は再使用しないでください。

- ④ 供給先の転居などでガスの供給を一時的に休止し、LP ガス供給設備から LP ガス容器を取り外した状態で放置する場合は、集合管内部の錆防止、逆止弁付根元バルブのゴム・樹脂部品の劣化を進めないために、高圧ホースの POL 部にキャップを取り付けて集合管内部への空気の入りを防いでください。

以上